

令和4年12月13日

只見町議会議長 大塚 純一郎 様

経済文教常任委員会  
委員長 中野 大徳

### 経済文教常任委員会所管事務調査報告書

本委員会の所管事務調査事項について、調査経過並びに結果を下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1. 所管事務調査事項

- (1) 地域産業の振興に関する調査
- (2) 生活環境の振興に関する調査
- (3) 教育の振興に関する調査
- (4) 観光施設、交流施設の設置目的の検証と利活用に関する調査
- (5) 国道289号八十里越の開通を見据えた利活用に関する調査
- (6) 新型コロナウイルスによる地域への影響に関する調査

#### 2. 調査の経過及び結果

- (1) 調査事項 所管事務に関する調査
- (2) 調査方法 事務調査
- (3) 調査日 9月7日、10月27日、11月8日、11月30日
- (4) 出席委員 中野大徳委員長、酒井正吉郎副委員長、三瓶良一委員、小沼信孝委員、佐藤孝義委員、矢沢明伸委員

#### 3. 調査結果及び意見

主に「薪ボイラー」導入に関し、先進地視察を含め調査した。鮫川村の薪ボイラー導入施設「さざり荘」と「薪ステーション」をブナセンター館長である紙谷氏、当局「薪ボイラー推進室」と共に視察研修。集積方法や施設での運用状況、導入効果等を調査した。

木材加工分野においては輸入材に頼り国産材の利用は、費用対効果の面で利用されてこなかった。例外に漏れず当町においても林業分野は間伐されずに伐期を過ぎてしまった杉林などが多く点在する状況となっている。委員会としては費用対効果、5年、10年先の只見の山林を視野に更に重点的に調査していく。

また只見線広場について、外灯設置、舗装区間の拡大等について委員会として担当課に要望した。併せて福島県生活環境部只見線管理事務所との意見交換会等を提案し、JR只見線の今後について調査していく。

以上